

### 石狩局 学校働き方改革推進会議

## 職員意見集め意識向上

### 推進校・恵庭和光小が報告

石狩教育局は昨年12月下旬、札幌市内遠郊の水産区画管内学校における働き方改革推進会議を開いた。各市町村教委の教育や管内小中学校校長、管内小中学校教頭会、事業推進校等から17人が出席。道教委に

質の高い教育につながる。必要な支援に取り組みたい」と述べた。続いて、道教委教職員課の小寺義典課長補佐と本吉シオン・プランにかかる取組状況の調査結果や地域部



活動推進事業等の概要を説明。出席者からは、部活動の地域移行を継続するための財政措置などに関する質問が挙がり、本吉課長補佐は国が検討中であることを伝えた。また、5年度からの段階的な部活動地域移行に向けて、具体的なロードマップの必要性や、検討会議への部活動指導者の出席などを求める声も上がった。

恵庭市立和光小学校の吉田裕司主幹教諭が中間報告を行った。前期通知表の所見を個人懇談で口頭説明することや、メンター研修による若手教員への支援、ICTを活用した作業の効率化など、学校独自で取組を推進していることを解説。休憩時間を確保できるよう時間への意識を持つことに加え、職員間での声かけや帰宅しやすい雰囲気づくりなどの成果が上げられた。

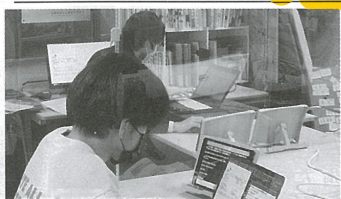
## ディスカバー農山漁村の宝 コミュニティ部門選定

### 真狩高 商品開発など評価

【小樽発】真狩高校（西村博幸校長）への北海道地区ディスカバー農山漁村の宝の授与式が昨年12月上旬、真狩村公民館で行われた。野菜・フルーツの商品開発や、大豆・オーガニック運動などの取組が評価された。生徒を代表して農業クラブ会長の佐藤ひなさん（2年）が、農水産省北

【小樽発】高等専門学校（岡弘明校長）は昨年12月上旬、同校でPWC Japan合同会社と連携したリモートインターンシップを実施した。情報サイエンス1年生3人が、同校のICT端末を使って打ち込み作業などの事務仕事を体験。生徒は「入力作業など初めての経験も多く、勉強になった」とそれぞれ見解を深めた。

定証を受け取った。佐藤さんは「今後、先輩が築き上げてきたことを継ぎ、発展させていきたい」と話していた。



【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

## 北海道通信



ディスカバー農山漁村(むら)の宝 北海道地区選定授与式

【小樽発】小樽市立湖見台中学校（加藤俊明校長）は昨年12月中旬、同校で道教委の子どもの心に響く道徳教育推進事業にかかる特別授業を行った。車いすバスケットボール日本代表ヘッドコーチの京谷和幸さん

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

## 車いすバスケットボール 失敗恐れず一歩を

【小樽発】小樽市立湖見台中学校（加藤俊明校長）は昨年12月中旬、同校で道教委の子どもの心に響く道徳教育推進事業にかかる特別授業を行った。車いすバスケットボール日本代表ヘッドコーチの京谷和幸さん

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【小樽発】小樽市立湖見台中学校（加藤俊明校長）は昨年12月中旬、同校で道教委の子どもの心に響く道徳教育推進事業にかかる特別授業を行った。車いすバスケットボール日本代表ヘッドコーチの京谷和幸さん

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること

【岩見沢発】ネイパル砂川は昨年12月中旬の2日間、同施設でジュニアイングリッシュキャンプを開いた。空知右狩管内の小学1～3年生とその保護者1組26人が参加。英語や異文化にふれる体験を楽しんだ。幼少期の子どものために英語や異文化にふれる機会を提供してグローバル人材としての素地を養うとともに、保護者のグローバル化への意識向上や子育てについての学習機会とすること